

「シロクローバ「リースリング」」(普及推進事項)

北海道農業研究センター作物開発部マメ科牧草育種研究室
 執筆担当者 奥村 健治
 廣井 清貞
 磯部 祥子

シロクローバ「リースリング」はクローバ菌核の発生が少なく、年次の経過に伴うクローバ率の低下程度が小さく、永続性が高い。中葉型であるが大葉型と同様にオーチャードグラスとの混播に向く。

1 試験目的

海外導入シロクロ - パ品種の特性を各地域で評価し、北海道優良品種の選定に資する。

2 試験方法

品種名：リースリング (Riesling)

育成者：Cebeco Seeds (オランダ)

導入者：ホクレン農業協同組合連合会

登録：OECD (1996年)

試験：オーチャードグラス (OG)「ハルジマン」との混播試験、刈取り回数は年2～4回、根釧農試では単播試験も実施。

3 試験成績

(標準品種「カリフォルニアラジノ」との比較)

1) 形態特性：小葉長、草丈ともに標準品種より小さく、タイプは「中葉型」。

2) 越冬性：標準品種並み。

3) 耐病性：クローバ菌核病の発生が少ない。

4) 収量性：2、3年目のOGとの合計年平均乾物収量、WC収量ともに標準品種並みである。

5) 競合力：クローバ被度は標準品種よりやや低いが、クローバ率は同程度で競合力は標準品種並みである。

6) 永続性：年次の経過に伴うクローバ率の低下の程度が小さく、永続性は高い。

表1 シロクローバ品種の形態特性、被度および越冬性

品種名	小葉長 mm	草丈 cm	クローバ被度%	越冬性	クローバ菌核病
リースリング	34 (92)	35 (91)	40 (89)	4.6 (102)	2.3 (66)
カリフォルニアラジノ	37	39	45	4.5	3.5

注) クローバ菌核病を除き6場所の平均値、()内は標準品種「カリフォルニアラジノ」比、小葉長、草丈は混播条件の1番草で、クローバ被度は各刈取りごとに測定、越冬性は評点1：劣～9：優、クローバ菌核病は評点1：無～9：甚で示した。なお、クローバ菌核病は滝川試験地の結果。

表2 混播試験における乾物収量(kg/a)

場所名	品種名	2年目			3年目			2, 3年平均			同左標準比%
		OG	WC	計	OG	WC	計	OG	WC	計	
根釧	リースリング	34.6	34.0	68.7	46.2	28.6	74.8	40.4	31.3	71.8	(95)
	カリフォルニアラジノ	36.6	37.2	73.8	45.8	31.6	77.4	41.2	34.4	75.6	
	LSD(5%)	NS	NS	NS	NS	4.6	5.0				
北農研	リースリング	59.7	48.7	108.3	48.6	23.9	72.5	54.2	36.3	90.4	(97)
	カリフォルニアラジノ	58.0	54.7	112.7	53.4	20.2	73.7	55.7	37.5	93.2	
	LSD(5%)	NS	NS	NS	NS	11.4	NS				
天北	リースリング	82.1	29.3	111.3	76.5	15.1	91.6	79.3	22.2	101.5	(105)
	カリフォルニアラジノ	80.9	22.8	103.7	77.7	12.3	90.0	79.3	17.6	96.9	
	LSD(5%)	NS	NS	NS	NS	NS	NS				
滝川	リースリング	68.2	36.4	104.6	67.9	20.3	88.2	68.1	28.4	96.4	(104)
	カリフォルニアラジノ	60.6	43.1	103.7	75.3	6.7	82.0	68.0	24.9	92.9	
	LSD(5%)	NS	4.9	NS	NS	**	NS				
北見	リースリング	98.1	26.1	124.2	67.4	17.3	84.7	82.8	21.7	104.5	(101)
	カリフォルニアラジノ	80.5	39.1	119.6	70.7	16.5	87.2	75.6	27.8	103.4	
	LSD(5%)	NS	8.4	NS	NS	NS	NS				
畜試	リースリング	104.3	17.3	121.6	100.5	8.6	109.1	102.4	13.0	115.4	(97)
	カリフォルニアラジノ	106.5	20.5	127.0	106.4	4.0	110.4	106.5	12.3	118.7	
	LSD(5%)	NS	3.0	NS	NS	NS	NS				
場所平均	リースリング	74.5	32.0	106.5	67.9	19.0	86.8	71.2	25.5	96.6	(100)
	カリフォルニアラジノ	70.5	36.2	106.8	71.6	15.2	86.8	71.0	25.7	96.8	



写真 3年目混播1番草の刈取後の再生（左：新優良品種「リースリング」、右：標準品種「カリフォルニアラジノ」）

表3 混播試験における年間平均クローバ率(DW%)

品種名	根釧					北農研				
	2年 目	3年 目	平均	3/2年 目比	標準 偏差	2年 目	3年 目	平均	3/2年 目比	標準 偏差
リースリング	49	38	43	76	9.1	45	33	39	73	7.3
カリフォルニアラジノ	49	40	45	81	9.6	50	29	40	58	12.9

品種名	天北					滝川				
	2年 目	3年 目	平均	3/2年 目比	標準 偏差	2年 目	3年 目	平均	3/2年 目比	標準 偏差
リースリング	26	17	22	67	9.4	34	24	29	70	7.8
カリフォルニアラジノ	21	15	18	73	6.6	40	8	24	20	19.8

品種名	北見					畜試				
	2年 目	3年 目	平均	3/2年 目比	標準 偏差	2年 目	3年 目	平均	3/2年 目比	標準 偏差
リースリング	21	21	21	100	11.3	15	8	11	51	6.1
カリフォルニアラジノ	34	20	27	58	14.8	17	4	11	23	9.1

4 試験結果及び考察

オーチャードグラスとの混播試験において「リースリング」は標準品種「カリフォルニアラジノ」と比較して、収量及びクローバ率は同程度であるが、クローバ菌核病の発生が少なく、年次の経過に伴うクローバ率の低下の程度が小さく、持続性が高い。これらの結果より「リースリング」はオーチャードグラスのとの混播利用されるシロクローバの課題であるクローバ率の安定性、持続性が改善されている。

5 普及指導上の注意事項

- 1) 普及対象地域：北海道一円
- 2) 普及見込面積：1000ha
- 3) 配布しうる種子量：2 t
- 4) 「中葉型」であるが「大葉型」と同様にオーチャードグラスとの混播に向く。